



㈱ラムハウジング代表取締役
リフォームと新築を手掛ける

川上優さん(54)

住改修で障害者サポート

住宅のリフォーム、2×4の新築を手掛ける㈱ラムハウジング。同社の川上優代表は「今はリフォームがメイン。今あるハコを生かして変えるのは新築よりも難しいけど、その分やりがいがある」と魅力を語る。

もともとは2×4の新築を手掛けていた同社。1999年事務所の移転に伴い、本格的にリフォームを展開するようになった。範囲は、水回りの補修から全面的な改修まで幅広い。川上社長は創業前に、鉄骨、コンクリート、木造と住宅関連の会社を経験。そのノウハウを生かし、適材適所のリフォームを心掛けている。

同社が近年、特に力を入れている



のが、障害者や高齢者向けのリフォーム。6年ほど前、専門知識を身に付ける武蔵塾に参加した。「手すり一つでも、身長や病状で適切な高さは違

う。適切な改修で、身体の機能が低下した人の自立をサポートできれば」と、障害者や高齢者向けのリフォームを研究するケアリフォームの会に入会。定期的な研修を通して、知識や技術を深めている。

仕事をする上では、依頼者とのコミュニケーションを重視し、イメージをすりあわせる。付き合いが長くなることも多く、全体の約7割をリピーターが占めるという。「お客さまはもちろん、協力業者、会社が満足できる、3方よしが理想。これからも、それぞれといい関係を築きたい」と笑った。(聞き手・栗野川里奈子) かわかみ・まさる 1956年那覇市出身。東京で鉄骨系の住宅設備会社に勤め、1976年に帰沖。コンクリート関連、2×4住宅の会社を経て1993年ラムハウジング創業。